

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2015年2月前半）

### 1. 経済

- 2015年1月の消費者信頼感指数は▲4（前月は▲4）。（2日付中央銀行プレスリリース）
- ベテル首相主催により、政府、主要労組、経営者団体の代表者の会合が3日に開催。当国の競争力について議論がなされ、労働法、税制、行政簡素化と競争力、の3つの作業部会を設置することが決定された。（3日付政府公報）
- Creditreform社によると、ルクセンブルクにおける新規法人登記数は、2012年は約8,500社であったのが、2014年は約11,000社となった。一方、このうち実体経済に関わるのは約3,500社で、これら企業により年間5,000人の新規雇用が創出。（11日付ヴォルト紙電子版）
- 2015年1月のインフレ率は年率-0.4%（前月は-0.6%）。1月から付加価値税率の引き上げが行われたにもかかわらずのマイナス。（13日付統計局プレスリリース）
- 統計局、最近の原油価格の下落を踏まえ、2015年のインフレ率を0.3%と予測。2016年も1.1%にとどまるとし、次回の賃金物価スライド制の発動は2016年半ばより前とはならない見込み。（13日付統計局プレスリリース）
- アルセロール・ミタル社、2014年の収益は79,282百万ドル（2013年は79,440百万ドル）、EBITDA（利払い・税・償却前利益）は7,237百万ドル（同6,888百万ドル）、純損失は1,086百万ドル（同2,545百万ドル）。（13日付アルセロール・ミタル社プレスリリース）

### 2. 金融

- 2014年末時点でのルクセンブルク籍の投資信託（ファンド）残高は3兆950億ユーロ。欧州規制に準拠したファンドの販売額中、2014年11月末までの時点でルクセンブルク籍ファンドは42%を占め欧州1位。代替投資ファンドマネージャー指令（AIFMD）の施行に伴い、認可された代替投資ファンドマネージャーの数は183となり、英、仏に次いで欧州第3位。（4日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス）
- ルクセンブルク中央銀行の発表によると、2014年末時点での金融機関における就業者数は25,785名。直近5年間で最少。（10日付ヴォルト紙電子版）

### 3. 政府

- シュナイダー副首相兼経済相、10日から13日にかけて経済ミッションを率いてトルコ訪問。（6日付経済省コミュニケ）
- グラメーニャ財務相、11日にブリュッセル開催の臨時ユーログループに出席。（6日付財務省コミュニケ）
- グラメーニャ財務相、ヴィドマー＝シュルンプ・スイス財務相と12日にルクセンブルクにて会談。（12日付財務省コミュニケ）
- ベテル首相兼通信・メディア相、15日から20日にかけて経済ミッションを率いて米国西海岸を訪問。（13日付通信・メディア総局コミュニケ）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。